

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	自治会に加入し、回覧板もあり地区行事には入居者、職員が積極的に参加、協力している。歌やマジックのボランティア団体や、地元中学生の合奏部の受け入れ、中学校の職場体験の受け入れをしており、入居者の楽しみになっている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	自治会長、保育園々長、民生委員、家族代表、法人担当者、管理者、計画作成担当者が参加して、開催されている。会議で出された意見、提案等については実現に向けた取組みを行っている。過去1年間に6回開催されているのが確認できた。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議に行政からの参加はないが、会議のあり方について情報交換を行っている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	「つづみの郷だより」を毎月発行し、入居者の担当職員が作成する「ケース記録」と共に家族に届けている。家族の来訪時には、出勤時は必ず管理者、ユニットリーダーが対応し、要望、希望など聞くよう取り組んでいる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは交通量の多い県道に面した新興住宅地域にあり、近くには公園や保育園、学校のグラウンド、喫茶店、パン屋、大型スーパー等がある社会的な生活環境が整備された地域に建っている。ホームは開設して6年になり、地域との関わりもでき、自治会に加入し、地元の夏祭りに招待される等、地域の行事には積極的に参加するよう取り組んでいる。また、ホーム主催のクリスマス会に近隣住民に案内をポスティングし、多数の若い親子の参加があり、今後も継続したいと考えている。退職した職員が子どもと一緒に来訪し、入居者と子どもがふれあう等、入居者、職員同士の良好な関係が何う事ができ、入居者には馴染みの人との関係継続に役立っている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。